ホームページは左の QR コードか
『つちはしえんげい』で検索

平成 30 年 12 月 1 日
会長　久峩十三生（852-3596）

会員各位

土橋園芸クラブ便り（平成 30 年度第 10 報）
スローガン：“土橋を緑豊かで花いっぱいの街へ”
コンセプト：美しい花とみどりで癒される環境作り
会員モットー：「楽しく　ゆっくり　元気で」活動

１．園芸クラブ報告

①　東名花壇花植

お天気に恵まれた 11 月 3 日、子ども会の親子さん約 50 名に加え、宮前兄妹のメローくん、コスミンちゃんも参加してにぎやかに花植を行いました。　宮前区役所地域振興課、道路公園センター、（公財）公園緑地協会の方々にもご参加いただきました。

花植後は恒例の「東名花壇祭り」、山形風の芋煮と炭火焼サンマに舌鼓を打ち秋の一日楽しいひと時を過ごしました。

②花壇情報

各花壇とも順調に育っていますが、唯一東名花壇の西側の小さな三角形のビオラに枯れたものが目立ちます。水やりにより息を吹き返しつつあるものもありますがほぼ完全に枯れたものも 10 鉢前後にのぼります。散歩がてら気が付いた方は水をやってください！

矢上川花木園には山茶花が咲き誇っています。皇帝ダリアは台風 24 号によって倒れてしまいましたが、残った小さな芽から再び立ち上がってきていますが、果たして花は期待できるのか？

２．町内会公式行事のご案内

①土橋カフェ：12 月 5 日（水）午後 1 時半の開店です。

“クリスマスシーズンを彩るソプラノの歌声　～懐かしい歌からオペラまで～” と題して**土橋在住のオペラ歌手　荒木　ユミ 様**　の登場です。

お茶代 100 円をお持ちください。

11 月 17 日付読売新聞に土橋カフェ取材の大きな記事が掲載されました！

2018年(平成30年)11月17日(土曜日)　読売

ただいま活動中

町内会が運営 理解深める

「認知症 土橋カフェ」（川崎市宮前区）

毎月第1水曜日、会合が始まる午後1時半を前に、参加者が早々と集まってくる。「どこから来たの？」「ここ空いてるわよ」――。スタッフは、初めての参加者でも親しみを込めて案内する。会場の土橋会館内は、すぐにあちこちでおしゃべりが始まる。

オープンして今年で5周年を迎えた「認知症 土橋カフェ」。認知症の患者とその家族、地域住民らが気軽に集い、専門職からアドバイスが受けられる「認知症カフェ」は全国で増えているが、ここは地元の土橋町内会が主体となって運営する珍しい取り組みだ。

毎回100人を超す参加者があり、認知症患者は1割程度。会合は3時間に及び、前半の歓談タイムでは、100円でおかわり自由のコーヒーや抹茶などを飲みながら世間話に花を咲かせる。その後、講師を招いての健康や医療、福祉、防災などをテーマにした講話を挟み、後半はスポーツジムのトレーナーたちによる身体や脳を活性化させる運動だ。

和気あいあいと交流を楽しむ場である一方、悩みや心配事のある家族らは、参加している医師やケアマネジャーなどの専門職に気軽に相談できる。相談を通じて認知症外来に受診させたり、早期の治療や介護保険制度の利用につながったりするケースも多い。

さらに、町内会は認知症への正しい理解が必要だとして、地域住民を対象とした認知症サポーター研修や、小中学生へのキッズサポーター研修を開催し、地域全体で認知症の人とその家族を支えるまちづくりに取り組んでいる。

認知症専門医で「たかはしメモリークリニック」院長の高橋正彦さん(68)は「地域の認知症への見方が変わってきた。カフェをきっかけに、認知症になっても周りの人たちの支援で元気に安心して暮らしていけると思えるようになった」と語る。

100人を超える参加者でにぎわう認知症カフェ。笑顔と笑い声が絶えない（川崎市宮前区の土橋会館で）

「認知症 土橋カフェ」の運営を支えるスタッフたち

また、カフェが大盛況の理由について、オープンの半年後から毎回参加している認知症ケアアドバイザーの五島シズさん(90)は「町内会の人たちはこのカフェを自分たちで作りあげたという意識がある。そして何よりスタッフたちの気配りが素晴らしく、『また来たい』と思わせる温かい雰囲気であふれている」と評価する。

当初は誤解や偏見を恐れてカフェの名称になかった「認知症」の文字を1年半前から入れた。活動は住民らに着実に浸透している。

（鈴木英二）

地域で支え 専門家らと連携

「認知症 土橋カフェ」の開設のきっかけとなったのは、2008年5月に放送されたテレビ番組「ご近所の底力 認知症のはいかい」だった。川崎市宮前区が舞台となり、土橋町内会のメンバーが参加した。

これをきっかけに、町内会で認知症による徘徊者への声掛け訓練に取り組むことになり、講師として高橋正彦医師を招いた。その後、高橋医師から「認知症カフェ」の存在を紹介され、町内会の役員のほか、地域包括支援センター職員や民生委員、保健師、弁護士らの協力を得て、2013年9月にスタートした。

地域で支える土橋カフェへの注目度は高く、毎回、全国各地の市役所や社会福祉協議会、大学などの関係者が見学に訪れている。

元町内会副会長でカフェ主宰の老門泰三さん(78)は「こまでできたのも町内会と各団体との連携や結束力があったからだ」と振り返り、「今後はこの流れをより深化させ、助け合いの気持ちに満ちた優しいまちづくりを目指したい」と話している。

②年末大掃除

12 月 28 日（金）午前 9 時半より尻手黒川線の歩道清掃並びに土橋会館の大掃除を行います。男性は東名花壇ベンチ付近に、女性は土橋会館にご参集ください。尻手黒川線については例年実施しているカンナの間引き作業は中止し、東名花壇の草取り及び歩道の清掃作業を実施します。作業終了後、簡単な**忘年会**を行います。

３．その他行事

①おしゃべりサロン

今月は**12月19日(水)**の開催です。　12 月恒例の正月飾りつくりを行います。

今回は正月飾りの材料費 500 円が必要です。

参加費は本格コーヒ、おやつ代の１００円です。

４．新入会員

林重太郎さま　　土橋 4 丁目 6-1 ヴィルヌーブ鷺沼 2-301　　☎855-9696

幹事　老門泰三
☎855-9154
taizo-oikado@docomo.ne.jp